第２回新潟市秋葉区外国籍市民懇談会　概要

日　　時：平成 25 年 3 月 22 日（金）　午後 2 時～4 時
場　　所：秋葉区役所　4 階　401 会議室
出席委員：6 名
　　荏原　富士子（コーディネーター），アルムガム　ソマスンダラム（公募委員），
　　王　淑貞（公募委員），高　晟埈（公募委員），ノレイ　ハセガワ（公募委員），
　　白　雪晴（公募委員）
事 務 局：堀内国際課長，宮島主査，田村主査，遠山主査
傍 聴 者：なし

意見の概要

1）近隣住民や外国籍区民との交流，地域コミュニティとの関わりについて

事務局より　第１回懇談会で出された課題と、現状と対応を別紙資料３に基づいて説明。

・（外国籍市民への情報を配るのに効果的な場所はどこか、との事務局からの質問に対して）自分たちも外国籍市民が集まる場所を探している状態。むしろそのような場を作ってほしい。
・ 知り合いの人で、「ボランティアで自分が日本語を教えてもいい」という人がいる。そのような人から、地域の外国籍市民に日本語を教えてもらうようにしてはどうか。
・ 区ごとに日本語教師のボランティアを活用するしくみがあると良い。
・ モデル町内会の制度が実現すればすばらしい。ぜひやってほしい。

2）外国籍区民の子育てと教育について

事務局より　第１回懇談会で出された課題と、現状と対応を別紙資料３に基づいて説明。

・ 区役所の窓口では、こちらからお願いしないと外国籍区民用の情報を出してくれない。情報を得るのに苦労している外国籍区民がいることを意識して、周知に努力をしてほしい。
・ 本の予約システムとは別に、図書館に外国語の書籍が 20～30 冊程度あると良いと考え、新津と亀田の図書館に手紙を出した。その結果、亀田図書館にある程度揃えてもらえることになった。

3）その他

事務局より　第１回懇談会で出された課題と、現状と対応を別紙資料３に基づいて説明。

・ 新潟市民病院の外来窓口事務で活用されている「多言語版医療窓口シート」は使いやすいので、市内すべての医療機関に備えておけばいいのではないか。
・ 外国籍市民の仕事探し体験談を語る場を提供するならそれを独立させて行うのではなく、他の事業や関連イベントに合わせて実施してはどうか。
・ 宗教団体によっては、多言語で勧誘員を派遣して巧みに外国籍市民の勧誘をするところがある。親身に話を聞いてくれるので無防備に入信するケースもあるかもしれないが、中には戒律が厳しくて、その人たちの子どもがかわいそうな目に遭っていることも懸念される。行政から規制してほしいという訳ではないが、そういう危険な事例があることを承知していてもらいたい。

● 出された課題がすべて解決された訳ではないが、今後も調査と取り組みを継続することとし、秋葉区外国籍市民懇談会は２回で終了することとなった。